

2017
創刊号

あおはにの風



特集

「法人設立 25 周年記念を迎えて」

OUTLOOK 「地域共生社会の実現にむけて」

事業所便り

Event News



法人設立25周年 記念を迎えて

青葉仁会は、社会福祉法人設立25周年を迎えました。無認可の共同作業所時代を入れると30年の月日が過ぎたこととなります。

社会福祉法人として認可された知的障害者入所授産施設「あおはにの家」が完成した1992年から今日までの間、措置制度から支援費制度、自立支援法、障害者総合福祉法と福祉制度が目まぐるしく変わりました。この

社会福祉に関わる制度の改革に継ぐ改革の年月を越えられた事は、ひとえに青葉仁会を支えて下さる皆様の、ご支援の賜物と、厚く感謝いたします。

青葉仁会の歩みは、身体障がい者対象の「ワークシヨップあおはに」、知的障がい者対象の生疏里（ふるさと）作業所という無認可自立支援事業所の開設が始まりました。その後、「ワークシヨップあおはに」は「アウトドア フォレスト」となって株式会社モンベルに移譲され、当時の利用者の方々は全員モンベルに雇用されました。もう20年前の事です。現在の障がい者施策でいう「就労移行支援」の役割を既に果たしていた事になります。利用者2名と職員4名から始まった「生疏里作業所」は、社会福祉法人という認可施設による利用者やご家族の安心な未来を築くことであり、その真髄は現在も法人の本拠地にあり、50名が生活する「あおはにの家」そのものであります。

このような道を歩む中で、法人の理

念は常に「幸福の平等」であり、そのシンボルマークは「幸福を表す7枚の青葉と、「平等」を表す5つの実によって表現されています。そのような社会を実現する原動力として、障がい者が普通に社会の表舞台であるメインストリーム（主流）で活躍することにより、障がいのある人もない人も相互に障がいを超えて、全ての人々の幸せを共に目指すものでした。

私たちが活動を始めた当時、知的障がい者にとって学校卒業後の生活とは、社会人として地域社会に居場所を移す事ではありませんでした。

また、本来は発達に遅れのある人達にこそ長く手厚い教育の期間が必要であるはずなのですが、旧養護学校を卒業した後の進学先はなく、社会人としての居場所も無いに等しく、唯一、進路と呼べる社会資源は措置制度による障がい者施設が担っていました。知的障がいのある人達にとって、発達は変化のプロセスであり、その発達は、学校教育の期間だけではとても力バールしきれ

ない、未知の可能性を秘めています。この発達の延長線上をしっかりと辿ってゆくことで、障がいがあっても社会参加し、ひとりの人間として豊かになれる道筋を築いてゆけるのです。社会的な生産活動に就く事で、自らの体験を通して潜在能力を発揮し、その力を使って自分の思い描く生活を可能にする。そうして人生の主体者として生きることができれば、障がいに関係なく尊厳ある自己として生きることが可能ではないでしょうか。青葉仁会は、彼らが社会のメインストリームにおいて活躍する、場所や条件を、社会にそって利用者個々に合わせた環境整備にこれからの取り組み続けてゆきます。

この25周年という四半世紀の節目は、次の25年後へのスタートとなります。青葉仁会の職員が一丸となって利用者の方々と「幸福の平等」に貢献してゆきたいと考えております。



シンボルマーク

「幸福」を表す7枚の青葉

「平等」を表す5つの実



ブルーベリー畑から望む青葉仁会本部



平成28年11月7日

奈良ロイヤルホテルにて

「青葉仁会

設立25周年記念式典」

が行われました。

法人設立時から今日にかけて日々ご協力頂いている福祉、行政、企業法人ご関係者様にご出席、祝福して頂くことができました。式典では、奈良市長 仲川 げん様、株式会社モンベル 代表取締役 会長 辰野勇様、社会福祉法人たんぽぽ福祉会 理事長 小坂孫次様より温かい祝辞を頂き、その後、カタヤマプランニング株式会社 代表取締役社長 片山右京様の乾杯のあいさつで懇親会が和やかにスタートしました。

あおはに第九をうたう会が「ペー
トーベン交響曲第九番」を原語で披露、
アフリカの民族楽器を操るジャンベ
チームの歌や踊りなど、楽しいパ
フォーマンスで会場が大いに盛り上が

りました。来賓の方々からも懐かしい
エピソードや、これからの法人への熱い
エールを頂き、職員一同感謝の気持ち
と同時に、身が引き締まる思いでした。
また、式典では25周年記念として製
作した短編ムービーもご鑑賞頂きまし
た。こちらのムービーは青葉仁会の
ホームページ(<http://aohani.org>)に
リンクを貼っておりますので、デーマソ
ング「やさしいキモチでいっぱい」と
合わせてお楽しみください。p.6
皆様の多大なご協力とご参加、誠に
ありがとうございました。



25周年記念短編ムービー



あおはに第九をうたう会



沢山のご関係者にご出席していただきました



落合東興様による職員表彰



理事長 榊原典俊あいさつ



あおはにジャンベチーム



あおはにジャンベチーム



- 1980年 4月——設立発起人榊原典俊ほか3名(中山恵子・長谷川和子・岩本土)により
社会福祉活動団体として「青葉仁会」設立
- 1984年 5月——伊藤匡、会長に就任
- 1987年 1月——身体障害者無認可作業所「ワークショップあおはに」を奈良市生辻町に開設
- 1988年 4月——知的障害者無認可作業所「生琉里作業所」を奈良市生琉里町に開設
- 1990年 2月——会長制をやめ、理事会制とし、初代理事長に稲葉忠温を選出
5月——身体障害者無認可作業所「アウトドアフォレスト」を奈良市佐保台に開設
- 1991年 9月——社会福祉法人認可
11月——身体障害者授産事業所「モンベルファクトリーアウトレット」を奈良市大宮町に開設
- 1992年 4月——知的障害者入所授産施設「あおはにの家」を開所
知的障害者通所授産施設「杣ノ川ワークス」を開所
- 1994年 6月——第2代理事長に榊原典俊を選出
- 1995年 1月——「アウトドアフォレスト」を株式会社モンベルに営業譲渡
- 1997年 4月——「水間ワークス」開所
- 2002年 4月——「萌あおはに」開所
- 2003年 4月——ケアホーム サンフラワーホーム開所
ケアホーム トマトホーム開所
- 2006年 5月——地域交流ホームオープン
- 2007年 3月——多機能事業所 日笠ワークス開所
- 2007年 4月——ケアホーム ピュアホーム開所
- 2008年 3月——ケアホーム ゆうゆうホーム開所
9月——多機能事業所 デリカテッセン イーハートヴ開所
- 2009年 10月——ケアホーム さくらホーム開所
- 2011年 4月——「デリカテッセン イーハートヴSora」オープン
- 2012年 3月——多機能事業所「ポラーノ広場」開所
カフェ&ベーカリー「クラムボン」オープン
ケアホーム「すこやかホーム」開所
- 2012年 4月——「満天ひろば」オープン
10月——ケアホーム「南紀寺ホーム」開所
- 2013年 4月——奈良西相談支援センター「ポラン」開所
- 2014年 4月——グループホーム「にこやかホーム」開所
- 2014年 7月——多機能事業所ポラーノ広場の従たる事業所として生駒山麓公園事業所開所
- 2016年 4月——グループホーム「紀寺マンション」(サテライト型)開所
- 2016年 7月——グループホーム「南紀寺ホーム2(ツヴァイ)」開所
- 2017年 5月——どんぐり山猫工房開所



25周年を記念して作られたテーマソングと短編ムービー

やさしいキモチで いっぱい



詞・曲 Chappe

きみがつくる毎日 は やさしいキモチでいっぱい
きみがわらう瞬間は うれしいキモチでいっぱい

きみがつくる毎日 は やさしいキモチでいっぱい
きみがくれる手紙は あったかい夢でいっぱい

きみがつくる毎日 は やさしいキモチでいっぱい
きみがこぼす涙にも やさしいキモチがいっぱい

そんな日々をならべて シアワセにつながって
こんな日々で囲まれて いっしょに歩んでいこう
きみがつくる毎日 は やさしいキモチでいっぱい

きみがつくる毎日 は たのしいキモチでいっぱい
きみが描くキャンパスはあたらしい色でいっぱい

きみがつくる毎日 は たのしいキモチでいっぱい
きみが怒ることだって
ほんとにはやさしいキモチでいっぱい

そんな日々をあつめて シアワセがふくらんで
こんな日々で囲まれて いっしょに歩んでいこう

きみがつくる毎日 は やさしいキモチでいっぱい
きみがはなす物語は 美しい詩(うた)でいっぱい

きみがつくる毎日 は やさしいキモチでいっぱい
きみがめぐることだって だれにもよくあることだ

そんな時はばくらが シアワセをつなげて
どんな時もどこまでも きみのもとへ届けるよ
きみがつくる毎日 は やさしいキモチでいっぱい

やさしいキモチでいっぱい



ホームページでご覧いただけます。
<http://www.aohani.org/>

「AOHANI^{ニコ}25フェス」開催

2016年11月12日に、法人本部がある杣ノ川にて記念祭が開催されました。

清々しい青空の下、利用者様、ご家族様、地域のボランティア様、職員が集い、野外での音楽パフォーマンス、施設内でのアートギャラリーや物販コーナー、体験コーナーなどが用意され、700人を超える方々にご来場いただき事ができました。

このイベントでは、青葉仁会のレストラン各店舗よりテーブルには乗り切らないほどの料理が提供されました。

そこに集まったすべての人が笑顔あふれる一日となり、お祝いするのにふさわしいイベントとなりました。





地域共生社会の実現にむけて

『幸福の平等』。この法人理念を基に私たちは、障がい者の側から障がい者当事者による積極的な社会的生産活動を通じて、地域との共生社会づくりに取り組んできました。障がい者の手によることを重視したのは、健常者の理論によって作り出される共生社会は、ややもすると障がい者の思いが伝わりにくかったり、彼らの力が発揮できる環境整備にずれが生じ、結果的には社会的強者の論理による共生社会なる可能性があるからです。

あおはに創設時から始まったこの取り組みは現在、奈良東部地域において、その自然を生かした環境整備やマルシェやレストラン、人々が日常的に集う満天ひろば、耕作放棄地や荒廃林の再生などを生産活動の柱にすえて、地域全体で人々がすこやかに生きる為の健康づくりをテーマにしています。これを「すこやかネットワーク」として構築

し、利用者と職員を合わせて約300人がさまざまな活動を展開しています。一方、奈良西部の高度成長期に開発・発展された住宅街においては、街のメイン広場にあつたスーパーマーケット跡地の利用、空き店舗を利用して地域住民が集うレストランや、弁当配食など、人々がいきいきと過ごせるライフラインの再構築をテーマに「いきいきネットワーク」と名付け、約270人の利用者と職員が日々の訓練と就労活動に従事しています。

今では、青葉仁の4店舗のカフェ・レストラン、マルシェへの年間来客数は10万人を超えるようになりました。お客様は、提供されるメニューやサービスはもちろんのこと、障がいがあっても各々の能力や特性をフルに発揮し、使命感をもって明るく活躍する利用者の姿に惹かれて通われる方も少なくはなく、また、それが支えになっている方もいらっしやいます。それは、障がいのあ



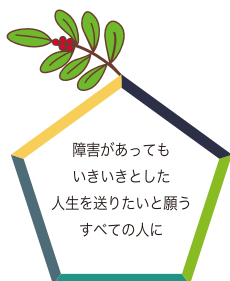
る人々が自らの障がいを超えて社会で活躍する現実を目撃し、その人自身のさまざまな人生や困難と重ね合わせることで、共に生きる人として共有するものを感じるからです。この共感こそが、共生社会の最も大切な信頼につながるのです。まさに、利用者である彼らが創り出す「共生の社会」だと思います。

おりしも法人25周年の節目にあたる平成29年春に厚生労働省より、新たな福祉政策が発表されました。タイトルは「我が事・丸ごと地域共生社会」です。社会保障の枠組みを越えて地域とつながることで、地域に環境を生み出す先進的取り組みを支援するとあります。特に、耕作放棄地や環境保全についての福祉関連施策は、政策に合わせた取り組みとして、東京オリンピック、パ

ラリンピックが開催される2020年が当面の目標とされています。

その過程を青葉仁会はしっかり支えてゆき、「幸福の平等」の理念において進めて行くところです。これらの動向は、まさに青葉仁会がこれまで障がいのある人たちと共に取り組んできた「幸福の平等」を目指す社会的生産活動にあると思います。

今後は「共生社会の実現」が日本の福祉施策の主となるでしょう。これまで提唱されてきた「①自助、②共助、③公助」がやはり基本の柱です。地域の確実な、そして継続的な経営主体である我々社会福祉法人は、この自助、共助、公助を実践する事になります。しかし成長を発達のプロセスとし、自立を目指す知的障がいのある人たちには、早期に公助で支え、周囲の力をかりて共助による自立への助走を果たし、そして尊厳ある自立に向けて歩む、その過程を青葉仁会はしっかり支えてゆき、「幸福の平等」の理念において進めて行くところです。



あおはにの家

施設入所支援
生活介護事業
短期入所
日中一時支援事業



萌あおはに

施設入所支援
生活介護事業
短期入所
日中一時支援事業

すこやか
ネットワーク



日笠ワークス

生活介護事業
就労継続支援B型事業(開始予定)



水間ワークス

生活介護事業 就労移行支援事業
就労継続支援B型事業



デリカテッセン イーハトーヴ

就労移行支援事業
就労継続支援B型事業



生駒事業所

(デリカテッセン イーハトーヴ、
ポラーノ広場の従たる事業所)

生活介護事業
就労移行支援
就労継続支援B型事業



いきいき
ネットワーク

ポラーノ広場

生活介護事業
就労継続支援B型事業



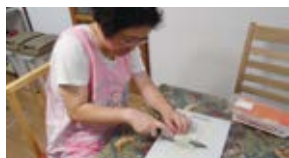
共同生活援助事業

サンフラワーホーム
トマトホーム
ビューホーム

さくらホーム
すこやかホーム
南紀寺ホーム

ゆうゆうホーム
南紀寺ホーム2

にこやかホーム
紀寺マンション(サテライト式)



相談支援事業

相談支援事業所 十萌
奈良西相談支援センター ポラン



放課後等デイサービス

2のあひる



居宅介護事業
行動援護事業
重度訪問介護事業
日中一時支援事業
移動支援事業
子育て支援事業
奈良市集いの広場
「ノル」

日笠ワークス



紙漉き事業が昨年の7月に満天ひるばから日笠にうつり早くも1年が過ぎようとしています。利用者さんたちも新しい環境でも慣れた作業内容ということもあって大きな混乱もなく、日笠ワークスで毎日過ごされています。

移転後、まず利用者さんがもっと作業がしやすいように、製造工程の見直しを行い、毎日の仕事内容も前日に見れるように掲示しています。自分の仕事事が事前に判ることにより利用者さん自身も見通しが立ちやすく、落ち着いてスムーズに作業できるようになっています。

和紙づくりは多くの人の手で行われます。原料を煮炊きする工程から紙を漉き、漉いた紙を加工するまで、それぞれが協力しあうことで良質な紙が出来上がります。そんな仕事を通じて、お互いに助け合うことや自分の任された仕事の大切さを一緒に学んでいます。



和紙づくり



③ かき混ぜ



② ゴミ取り



① 原料(ガンピ、竹)



紙の原料に竹を
使用しています。

竹は成長が早く、ほっておくとどん
どん田畑を侵食していきます。ただ地
元では人手不足の中、整備が行きとど
かないのが現状です。そんな里山の保
全のため、地域貢献活動の一環として、
地元の竹を切り出し、紙を漉いていま
す。私達の行う物づくりが少しでも地
域の里山保全に繋がればと考え、地域
性を生かしたこだわりの物づくりを目
指しています。



7

乾燥



6

板貼(いたばり)



5

水切り



4

漉く

デリカテッセン イーハトーヴ

2016年度に、イーハトーヴでは各班とも新たな取り組みを行ってまいりました。

まず、食品加工班（カレー製造）が、食品品質管理方法としてのHACCP（ハサップ。食品製造を行うにあたり、異物混入や食中毒等の「危害」にあたる事項を「分析」し、「重要な管理点」を定めて集中的に管理するシステムのこと）方式を行っている施設である、昨年7月に日本惣菜協会から認定されました。全国の社会福祉法人施設としては、HACCP認定を受けた先駆的な例となります。

仕出し・惣菜班は、カフェSora店頭向けのお惣菜、お弁当の製造に加え、お客様からお弁当やオードブルのご注文を受けており、皆様から大変ご好評をいただいております。こちらにも、更に衛生面の管理も強化していくためにHACCP認定を受けるための準備を進めております。



カフェSoraは、週替わりランチがお客様からご好評いただいております。またスイーツメニューを強化して、どの時間に来て頂いても楽しんでいただけるよう心がけています。

平成28年度中には7名の新しい利用者さんが、さらにこの春には4名の利用者さんが仲間として加わりました。現在各班で頑張っている先輩達を見習って、新しい職場に少しずつ慣れていっています。



山麓公園レストラン

カフェSora

生駒山麓公園レストラン

デリカ・生駒事業所は『山麓公園レストラン』のリニューアルオープン以来、早くも3年目に入ります。今では、私達のお店のファンになり通ってくださるお客様もたくさんできました。初めてご来店頂いたお客様に「また来るね!」と言って頂けることに、私たちも喜びを感じています。当レストランには、週末や連休のピーク時などは1日で数百人のご来店があります。

また、ふれあいセンターの宿泊棟には200名近い方が泊まれ、私たちは朝食・昼食・夕食の準備と提供をいたします。団体様のお食事を時間通りに提供する為には、きっちりとした準備、作業手順、そして皆のチームワークが欠かせません。慌てないで、ひとりひとりのお客様に

喜んで帰って頂く為の訓練とサービスの向上に日々努めています。また、四季折々のイベントや、生駒の地元産のおいしい食材を使った「さんろくランチ」、ケーキ・ランチバイキングなど、新しい事にもどんどんチャレンジして行こうと思います。

今年4月から、新たにフィールドアスレチックの業務が増えました。新しい業務で覚える事がたくさんありますが、多くのお客様に楽しんで頂ける憩いの場所となるよう、スタッフ一同がんばります!



どんぐり山猫工房



広い作業場で大物も次々に納品できるように



小さなものから



オーダーメイドで作る一品も受注

平成29年5月、あおはにの木工班は「どんぐり山猫工房」事業所として新たなスタートをきりました。

当事業所は、水間ワークスの従たる事業所として生活介護の生産型事業を行います。木製のスプーン、カッティングボード、オーダー家具、キッチン、ステーションナリー、アウトドアグッズ、おもちゃなどの木製品の製造に取り組みます。

緑豊かな山間部の旧保育園跡地を利用した広々とした作業場で、みんなの元気な声とあたたかな木の香りが漂う空間となることでしょう。

社会福祉法人青葉仁会 **どんぐり山猫工房**



保育園跡を改装した新しい作業場



治具を使って正確な作業



手で磨くからこそ出る味わいがある



新たに導入したパネルソー



どこかユーモラスな表情を見せる
積み上げられた足



第14回グリーンフェスタ開催

今年もあの「片山右京」氏をお迎えし、大和高原サイクルツアー
「グリーンフェスタ」を開催します！

全長約10kmの起伏にとんだ大和高原のコースを自分のペースで走破！

フリーマーケットやいろいろな食べ物の出店も予定しています。

初夏の大和高原で楽しい一日を過ごしましょう。



片山右京さんと走る 大和高原サイクリング

※要予約 参加費2,000円
(会場で使用できる500円の金券つき)

6月4日(日)満天ひろば

入場無料・雨天決行

〒630-2151奈良市水間町3031

お問合せ・お申込み:TEL0742-81-1310

E-mail craft@aohani.com



2017年5月発行の

「コトノネ」Vol.22号に掲載されました！

「コトノネ」は、障害者施設の経営革新と、障害者施設の優れた商品を生活者に紹介することを目的にした雑誌です。是非ご覧ください。

定価：780円 季刊誌：2月、5月、8月、11月 <http://kotonone.jp/>



今年もみんなでたんねんに育てた、
農薬を使用しない
「あおはにブルーベリー園」
が開園します！

8月1日(火)
～9月10日(日)
入園料別途

開園に関する情報詳細は
7月からホームページにアップします！

期間中毎年恒例の
ブルーベリー収穫祭も
開催予定です。

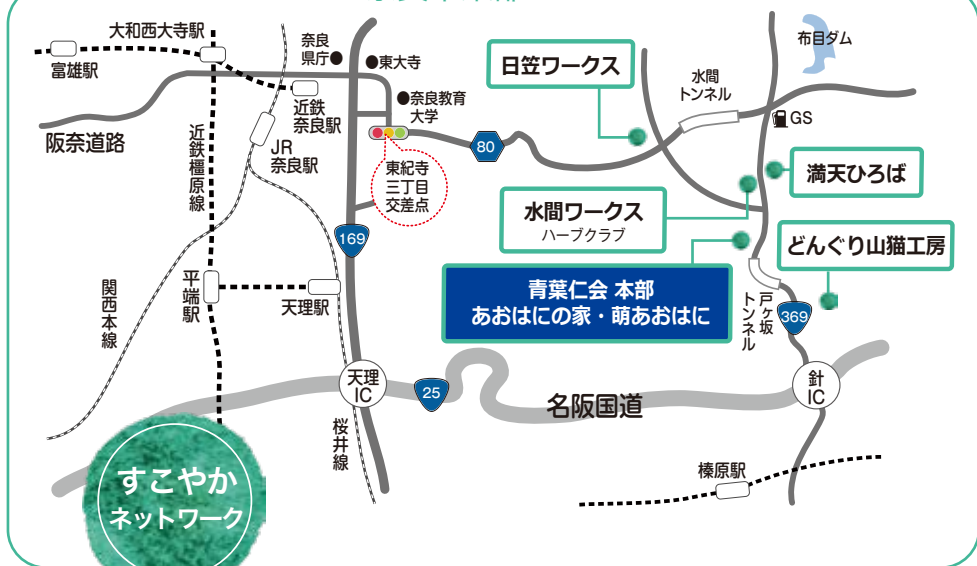
こちらも日程確定次第お知らせします。

あおはに

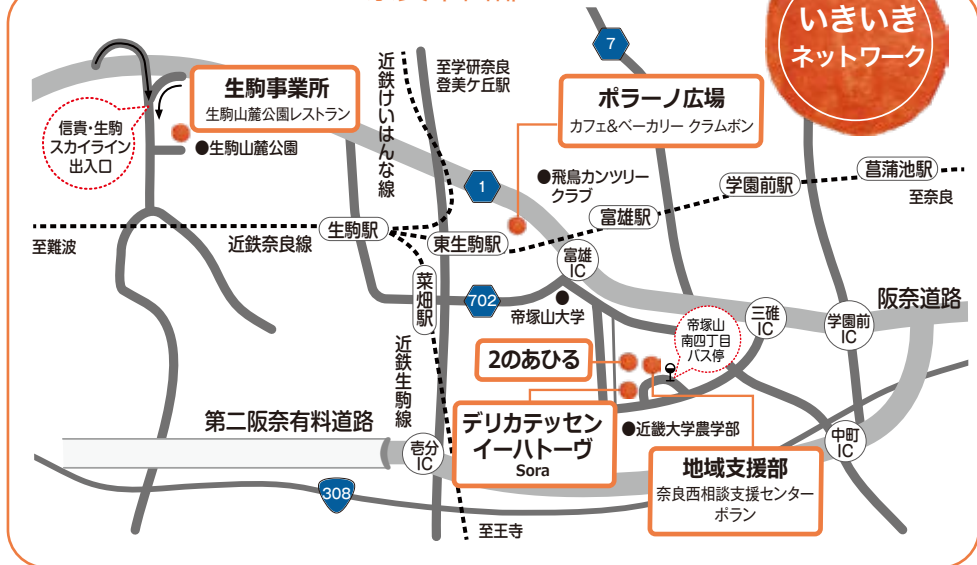
ブルーベリー園
ブルーベリー摘み＆
食べ放題



奈良市東部エリア



奈良市西部エリア





表紙のイラスト

「トラうさぎ」

作者：藤田 雄(フジタ ユウ)さん

(1971-) 奈良県在住

最近はお鬼のお面の制作をしており、手ごろな厚紙を見つけると、それを立体におこし、折り紙で丁寧に表面を貼って

「鬼」を作る。作品はどれも彼の宝物のようで、いとおしそうに眺めたりした後は大切に引き出しにしまっている。

常に大量の紙と、ペンと、のり、ホッチキスを抱えており、散歩に行く時も、食事の時も、お風呂に行く時もそれら全てを持って移動している。彼にとって創作することは生活の一部である。



【主な展覧会】

- 2014 「ビッグ・アイアートプロジェクト」入選
- 2014 「アール・ブリュット 作品全国公募」入選
- 2015.2 「アール・ブリュット ユートピアの創造主たち」
滋賀 大津プリンス
- 2015 「COMPLETE CONTROL」やまなみ工房
- 2015.4/1~7/24
「Selection of Japanese Artworks」
ミュゼ・ヴィジヨネル／スイス チューリッヒ
- 2015.9~2016.5
「Art Brut -Japan-schweiz」
ゲギング ミュージアム／オーストリア ウィーン
- 2016.11 「みんな北斎コンクール」入選
- 2016.12 スカイツリーにて展示

編集後記

この度、無事に法人設立25周年を迎えることができ、記念イベントも無事に終わりました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く御礼申し上げます。

法人設立25周年の節目、それは同時に30年、40年、50年と続く、これからの青葉仁会の新しいスタートでもあります。

無我夢中で駆け抜けた25年を一度整理して、新しい青葉仁会と皆様とのさらなる信頼と強い絆もこれから先ずっと続いていく事を願い、休刊していた広報誌を装い新たに再刊することにいたしました。

青葉仁会の日常生活、ニュース、トピックスなどを中心に、皆様と青葉仁会を繋ぐ架け橋として、編集スタッフが真心込めて作成し、皆様にお届けいたします。

新しい広報誌「あおはにの風」をよろしく願い申し上げます。

編集責任 榊原 安美



社会福祉法人 青葉仁会

〒630-2152 奈良市杣ノ川町50番地の1
TEL.0742-81-0420
FAX0742-81-0804
info@aohani.com
http://www.aohani.com

すこやかネットワーク

●あおはにの家・萌あおはに
〒630-2152 奈良市杣ノ川町50番地の1
TEL.0742-81-0824 FAX.0742-81-0804

●水間ワークス
〒630-2151 奈良市水間町3020-3
TEL.0742-81-0864 FAX.0742-81-0829

●日笠ワークス
〒630-2173 奈良市日笠町396-2
TEL・FAX.0742-81-1071

●満天ひろば
〒630-2151 奈良市水間町3031
TEL.0742-81-1310 FAX.0742-81-1311

●どんぐり山猫工房
〒632-0113 奈良市都祁馬場町 716
TEL・FAX .0743-89-1808

いきいきネットワーク

●デリカテッセンイーハトーヴ
〒630-0064 奈良市帝塚山南4丁目11-14
TEL.0742-95-7227 FAX.0742-95-7228

●ポラーノ広場
〒631-0061 奈良市三碓町2146-2
TEL.0742-45-8700 FAX.0742-45-8701

●生駒事業所
〒630-0243 生駒市俣口町2088
TEL.0743-73-8880 FAX.0743-73-5350

●地域支援部
〒631-0064 奈良市帝塚山南4丁目11-10
TEL.0742-81-8877 FAX.0742-81-8660

●2のあひる
〒630-0064 奈良市帝塚山南4丁目14-12
TEL・FAX.0742-81-3982



社会福祉法人 青葉仁会